

平成 26 年度群馬 NPO 協議会事業報告書

期間 平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

会場 群馬県社会福祉総合センター B01 会議室

時間 平成 27 年 6 月 5 日（金） 18 時 00 分～



目 次

1. 群馬 NPO 協議会関連（本年度会員数、総会、役員会、後援）
 - 会員数：262（個人・団体）
 - 総会：6/13
 - 役員会：4 回実施（7/28, 12/17, 3/12, 5/29）
 - 後援：12 団体

2. 会員対象の助成金事業
 - 平成 26 年度助成金：平成 26 年 6 月 13 日総会にて、5 団体へ各 3 万円助成

3. ぐんま NPO フェスティバル
 - 平成 27 年 1 月 18 日 車椅子バスケット・車椅子テニス・伴走ランニングの体験

4. SAVE JAPAN プロジェクト
 - テーマ：甦らせよう！レンゲツツジ&ニッコウキスゲ
 - 赤城自然塾に委託

5. 「赤い羽根・あんしんコミュニティ構築事業」特別配分
 - 「地域から孤立をなくすための取り組み」

6. NPO・ボランティアサロンぐんま運営委託
 - サロン運営管理・ブリーサ発行・市民力養成講座・地域連携セミナー等

事業名	1. 群馬 NPO 協議会関連	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の NPO ネットワークとの連携を深め日々進化する NPO 法や法人活動等の最新情報を収集し、提供することにより、会員が地域密着した活動できるよう支援する。 ・本会の存在意義をアピールするとともに円滑な NPO 法人活動に寄与する。 	
実施概要	会員数：262 団体（個人・団体） 総会：49 名出席 ※交流会名出席 28 名 役員会：4 回実施（7/28, 12/17, 3/12, 5/29） 後援：12 団体	
	後援承認日	事業の名称
	4月18日	2014 連合群馬ふれあいフェスティバル
	4月22日	新しい地域支援のあり方フォーラム
4月23日	子どもたちの有事に自分で自分の実を守るための実践体験事業	NPO 法人思いをつなぐ会
		連合群馬
		群馬県住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会

	8月28日	世界遺産登記念 特別『人塾』シンポジウム	NPO法人日本福祉教育研究所
	9月10日	第5回・おおた町の先生見本市	おおた・まちの先生見本市実行推進協議会
	10月18日	子どもたちの有事に自分で自分の実を守るための実践体験事業	NPO法人思いをつなぐ会
	12月18日	市民後見の講演会	NPO法人お互いさまネットワーク
	12月20日	Mサポふれあい祭り	Mサポふれあい祭り実行委員会
	12月22日	第5回NPO・ボランティアフェスティバル	NPO・ボランティアフェスティバル実行委員会
	1月28日	設立15周年記念講演会	NPO法人日本福祉教育研究所
	3月20日	第6回幸せを呼ぶ「奉納結婚式」	NPO法人思いをつなぐ会
	3月30日	第3回馬に乗りませんか？	群馬障がい者乗馬協会
	・SAVE JAPAN プロジェクト運営支援団体会議参加 (11/4)		
成果	日本 NPO センターと連携したプロジェクトに参加することにより、全国の中間支援団体と交流し、多くの情報交換ができた。また、微力ながら 12 団体の事業の後援をさせていただいた。		
課題	後援事業の広報		
備考			

事業名	2. 会員対象の助成金事業
目的	NPO 法人活動の活性化を支援する
実施概要	3万円 × 5 団体へ助成 (応募：12 団体) 平成26年6月13日 (金)「平成26年度群馬NPO協議会総会」にて 助成団体 ①NPO 法人 Annaka ひだまりマルシェ ②NPO 法人鳴神の自然を守る会 ③NPO 法人スモール・ステップ ④NPO 法人日本動物愛護福祉協会 ⑤NPO 法人おひさま
成果	今まで8年間に27団体を支援し、民から民への支援の実績ができてきている。 NPO 法人の財源として、行政補助、委託に頼るばかりではなく、会費、寄付、民間助成金など多様な資源になるよう今後とも継続していく。
課題	財源確保
備考	24年度までは5万円×3団体であったが、一昨年より役員会の意見を基に3万円×5団体の支援としている。

事業名	3. 「楽しいバリアフリーイベント」第7回ぐんま NPO フェスティバル
目的	ハンディキャップは社会の問題であるが、現状は個人的問題と考えられがちで無理解、偏見、差別などの意識上のバリアがある。 ～高齢者・学生・子ども～ ～障害者・健常者・子ども～ 世代間交流と差別のない社会、人にやさしく、そして相手の気持ちを思う心のバリアフリーを目指す。
実施概要	開催日：平成27年1月18（土） 実施場所：群馬県立ふれあいスポーツプラザ 参加者数：約80名 講師を招いて車いすテニス、車いすバスケット、伴走ランニングの体験会を開催。
成果	車椅子バスケット・車椅子テニス・伴走ランニングで共に交流が生まれ、障害の有無にかかわらず大勢の人に知ってもらい、身近に楽しんでもらうことができた。
課題	一人でも多くの人に知ってもらうための広報活動の工夫。
備考	共同募金受配事業

事業名	4. SAVE JAPAN プロジェクト
目的	地域住民の皆さんが環境保全活動に参加するきっかけを提供すること。 このプロジェクトに参加していただくことで、皆さんが地域の自然環境に関心を持ってもらい、生物多様性を理解してもらうことへつながる。 私たちは「いきものが住みやすい環境づくり」を目指す。
実施概要	NPO法人赤城自然塾に委託して実施した。 テーマ：甦らせよう！レンゲツツジとニッコウキスゲ「覚満淵ササ刈り作戦」 平成26年7月20日（日）第2回赤城山覚満淵自然観察会 参加者127名 8班編成で班単位での観察会を実施 平成26年11月9日（日）赤城山覚満淵のササ刈り作戦 参加者249名 5班編成で班単位でササ狩りを実施 平成27年3月21日（土）活動報告会「赤城山 自然の魅力をアピールしよう！」 参加者229名
成果	甦らせよう！レンゲツツジとニッコウキスゲをテーマに「覚満淵ササ刈り作戦」を実行し、少しづつではありますが、確実に増えてきたのが確認できます。 どのイベントにも今までお付き合いのない多くの一般の方に参加していただき、特に自然観察会では中学生以下の若年の皆さんに参加いただき、自然保護の意識を高く持ってもらうことができました。
課題	活動の発展には若い皆さんに参加いただくことが重要だと思います。 多くの子供たちに、花が咲き乱れるこの素晴らしい覚満淵を見てもらい、この環境を保護していくために、人・物を含めた啓発活動の継続が必要。
備考	

事業名	5. 「地域から孤立をなくすための取り組み」
目的	NPO 法人会計基準を導入する NPO 法人を増やし、NPO 法人の基盤強化につなげる。
実施概要 と成果	<p>5月31日（土） 10：00 から 12：00 高崎市市民活動センター「ソシアス」第2学習室において</p> <p>NPO 法人会計基準の様式の説明、会計基準導入のチェックポイントの確認、群馬県の導入状況、赤い羽根共同募金助成金の説明会をおこないました。</p> <p>NPO 法人 16 法人 21 人、設立準備中 1 団体 2 名、行政 2 名 関係者 5 名、合計 30 名が参加しました。</p> <p>①科目例や活動計算書、貸借対照表、注記の様式の説明を行いました。</p> <p>様式がダウンロードできるサイト、NPO 法人会計基準に準拠したソフトの紹介サイトを紹介しました。</p> <p>今後の NPO 法人会計基準に関する支援を案内しました。</p> <p>②活動計算書の様式の説明と 活動計算書に変更できているかをチェックする、新たに作成された6つのチェックポイントシートを使って具体的に NPO 法人会計基準について理解を深めていただく説明をおこないました。</p> <p>※6つのチェックポイントシートがダウンロードできるサイトを紹介しました。</p> <p>③群馬県共同募金の助成プログラムについて、新たにとりくんでいるつかい道を選べる赤い羽根募金についての説明がありました。</p>
課題	タイトルだけを活動計算書にして、様式が準拠していない団体が多いことや、注記がなく、注記の重要性が伝わってほしいことが今後の課題。
備考	「赤い羽根・あんしんコミュニティ構築事業」特別配分

事業名	6. NPO・ボランティアサロンぐんまの運営委託事業
目的	多様な市民活動がさらに活発になるように群馬県全域を対象に支援を行うことを目的とし、群馬県により設置されている。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施概要</p>	<p>主な実施概要</p> <p>(1) 場の提供</p> <p>(2) 市民活動に関する相談・助言（相談対応（電話等含む）、ネットワーク形成・連携・交流）</p> <p>(3) 情報の収集・提供（活動写真展の実施）</p> <p>(4) ボランティア体験の場の提供 （ランチタイム見に来んさーと、花植えボランティア、収集ボランティア、NPO法人が受け入れる夏休み学生ボランティア）</p> <p>(5) ボランティア講座講師派遣</p> <p>(6) ボランティア保険受付</p> <p>(7) 機関紙「ブリーサ」の発行</p> <p>(8) NPO基盤強化セミナーの実施</p> <p>(9) 地域連携講座の実施</p> <p>(10) センタースタッフスキルアップ支援、スキルアップセミナーの実施（個別相談、伴走型支援、プロボノ、セミナー）</p> <p>(11) スタッフ情報交換会の実施</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</p>	<p>(1) 場の提供</p> <p>サロンの総利用者数は9272名（前年8809名）、印刷件数740件（前年830件）、書籍利用62件（昨年97件）、書籍購入10冊（去年8冊）、寄贈1冊（昨年1冊）、→ドラマ館にきた人の立ち寄りもあり、利用者数は増加（1月～3月）。立ち寄りでもNPO法人の展示や物品、ボランティアなど資料を見ている。 →プリンター老朽化のため長尺印刷サービスを9月で終了。利用は減少傾向。 →書籍購入費が予算削減され、書籍購入控えの傾向にあった。書籍貸出し件数も減少傾向</p> <p>(2) 市民活動に関する相談・助言</p> <p>①相談対応 相談対応727件、その他の対応375件（前年627件）、電話対応752件（去年825件） Salesforce入力768件、総時間30448分 →昨年度よりカウント内容を変更したが、相談合計数は増加傾向となっている。</p> <p>②ネットワーク形成・連携・交流 会議参加、央労金、馬県社会福祉協議会ボランティアセンター運営会議 群馬県共同募金会助成金関連および交付式、勢崎市協働助成金会議、EOC中間支援組織交流会 JT助成金交付式 →助成団体、行政、NPO法人との連携強化に繋がった。</p> <p>(3) 情報収集・提供</p> <p>①NPO・ボランティア団体・中間支援センター等の情報収集活動 県内各地のべ54回、144.5時間（36時間/人） →人員が減っているため回数と合計時間は去年度より減る見込み。</p> <p>②県外研修のべ11回 5/9 認定制度が危ない！？ 7/10 Googleの非営利団体向けプログラム 8/22 NPO法人会計基準協議会 9/28 社会を変えるソーシャルベンチャーとプロボノの未来 10/3 NPO法人運営入門講座 定款の作成と変更 10/4 シンポジウム「今、なぜ若者応援が必要なのか？」</p>

12/4 Salesforce world tour tokyo
 12/11 日本の非営利セクターを支える2つの法人制度の今後の役割
 12/14 自然体験フォーラム2015 想いでつながる、そしてはじまる
 2/28～3/1全国ボランティアコーディネーター研究集会2015 (JVCC2015大阪)
 3/14 第17回日本NPO学会

→都内の会計基準総会6/13、収支計算書の取り扱いに関する会議8/22において情報収集した。

③受付チラシ数851件 (昨年1122件)

掲示板に長期休み学生ボランティア、花燃ゆに関係するNPO法人関連展示に関する準備、展示募集
 1月～3月

④ブログ投稿87記事 (昨年110記事)

受付ちらしのブログアップ378件 (昨年432件)

Facebookでの投稿89件 (去年93件)

→ITサポーターの方がきちんとアップしてくれる。Facebookでの投稿が増え、ブログの記事が減っている。

⑤協働環境調査

群馬県、前橋市、高崎市、太田市で実施。HPの掲載状況をサロンスタッフが誰が見ても同じ点数となるよう、評価基準に沿って採点。その後行政担当セクションに送り、行政視点で採点。事務局に送り事務局視点で採点。意見が分かれる場合は調整し、最終的なポイント決定。1/28調査報告会を実施。

(4) ボランティア体験の場の提供

①ランチタイム見に来んさーと

演奏全10回、演奏ボランティア26名、運営ボランティアのべ112名 (デジカメ動画撮影含) 聴衆877名

8/27小島響君 黄色いピアノコンサート協力。去年のような大雪もなく、無事に全部の主家ジュールが実施できた。演奏者はとうきょうや埼玉からの参加者もいた。観客は毎回片品から来る男性等、リピーターも多い。去年同様、赤い羽根のつかいみちを選べる募金にも協力した。

	日時	演奏科目	演奏者	演奏者人数	客数	ボランティア数
1	1月20日	ピアノ・フルート	アンサンブル・カプリコ(黒沼智子・井上聡美)	2	99	13
2	1月27日	ギター弾き語り	高橋晃	1	60	11
3	2月3日	ヘルマンハーブ&篠笛	島村敦子・笠原通宏	2	66	8
4	2月10日	歌(オペレッタ)	清水芳美・増井恵梨	2	75	12
5	2月17日	ピアノ	周東侑子	1	92	11
6	2月24日	ハンドベル	ベルアンサンブル蘭(宮下孝子他7名)	8	109	10
7	3月3日	オカリナ	ゆうこ・三田知恵	2	88	11
8	3月10日	クラリネット・ソプラノ・ピアノ	手塚菊子・石原理恵・水間由紀子	3	81	13
9	3月17日	歌(ソプラノ)	小林美佐子・大谷知子	2	95	11
10	3月24日	バイオリン・ピアノ・フルート	小寺迪輝・小柳拓人・小柳真由美	3	112	12
				合計	877	112
				平均	87.7	11.2

②花植えボランティア

水やり隊から花植えボランティアに名称変更。正面玄関のプランター13個を管理。花植えと水やりのボランティアを募集。自分(自費)で植えたお気に入りの花なので、花柄摘みも丁寧に管理。ボランティア3名。延べ95名。1年間の成果に喜びを感じていた。

③収集ボランティア

成果

エコキャップ、アルミ缶、使用済み切手の持参は常連協力者。エコキャップは 265KG
 エコ推進自治体は Thank You カード発行の希望あり。使用済み切手は 2014 年 4 月にタンザニア
 ポレポレクラブに段ボール箱 1 箱分送付。14 年 9 月に不要ノートパソコン寄付を募り、NPO 法人
 equ-alle に 19 台、携帯 10 個、デジカメ 8 個他マウス、アダプターを提供 9/15~9/22

④NPO 法人が受け入れる夏休み学生ボランティア

夏休み学生ボランティアのファイル作成時、QRコードを利用し検索し易いように工夫した。

(5) ボランティア講座講師派遣

- 6/14館林 会計基準セミナー
- 11/26新島短大ボランティ講座
- 2/6市町村活動担当者会議講師

(6) ボランティア保険受付

のべ17件、619人対応。月別対応数は4月9件、5月4件、6月9月各1件。下期は2件4名のみ
 4月5月は相談者も多く、対応が大変だった。

(7) 機関紙「ブリーサの」発行

県内の市民活動に関する情報を発信

ブリーサ編集委員会 5/15、11/7 昨年同様、年2回の発行。

当初、課の方からブリーサのレイアウトを縦型にしたらどうかという案をいただいたが、変更してま
 だ、2年目ということもあり、できれば同じスタイルで発行したいとの要望を伝える。後期も編集会議
 は1回のみだが、細々としたことはミーティング等で話し合う。今回も最後に記事の差し替えを行っ
 た。各3000部発行

(8) NPO基盤強化セミナーの実施

「初めての決算」
 4月12日

4/1213:30~15:30 県庁昭和庁舎 21 会議室にて、初めて
 決算を迎える団体を対象にした恒例のセミナー実施。NPO
 法人の税務(みどりの県民税の加算)、事業報告書の書き
 方、会計基準、監査の受け方、仕方、認定 NPO 法人に向け
 ての準備などについて、県税務課、サロンスタッフ等で説
 明。申込み 48 名、参加者 41 名、サロン関係者 5 名、群
 馬県 1 名計 47 名の参加。

パソコンお助けサロン
 パソコンよろず茶屋

お助けサロンは、上期は EXCEL 簡単会計、ちらし・パンフレ
 ット作り、初めてのパワーポイント、団体紹介 CM 制作の計
 4 回を実施。計 14 名参加、ボランティア合計 15 名。よろ
 ず茶屋は 12 名参加。
 下期はブログ開設と投稿、バーチャル会議の体験、ネット中
 継、名簿管理・ラベル印刷、facebook を NPO で活用の計 5 回
 を実施。計 21 名参加、ボランティア合計 19 名。よろず茶
 屋は 11 名参加、ボランティア合計 12 名。

(9) 地域連携セミナー

(1) 高崎

5月31日(土) 14:00 から 16:00 高崎市市民活動セン
 ター「ソシアス」第2学習室において、資産が現預金中心の
 小規模 NPO 法人のための簡単エクセル会計セミナーを実施し
 た。NPO 法人 9 法人 12 名、設立準備中 1 団体 2 名、市民
 IT サポーター 4 名 関係者 5 名 合計 23 名が参加。

成
 果

成果	(2) 伊勢崎	<p>「分析セミナー」団体運営を分析する 10月8日(水)14時00分～16時30分 緋の郷交流館会議室。 講師は小山範之さん(NPO法人ぐんま知的資産経営ファーム) 参加団体：伊勢崎市3団体、藤岡市1団体、安中市1団体計 5団体 協力：伊勢崎市市民活動支援センター</p>
	<p>(10) センタースタッフスキルアップ支援&スキルアップセミナーの実施</p> <p>①個別相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/26 9時30分～20時「関東信越税理士会高崎支部とNPO・ボランティアサロンぐんま連携による個別相談」 ビエント高崎で実施。NPO法人9法人13名 協力税理士10名 ソリマチ1名 サロン4名 協議会2名参加 ・9/2 沼田 沼田市保健福祉センター あおぞら会2名 奥利根水源地域ネットワーク1名 税理士2名 研修生2名 行政2名 サロン2名参加 ・10/7 桐生、桐生市福祉会館 NPO法人 equ-alle1名、NPO法人愛和ライフサポート1名ト、NPO法人北関東医療相談会1名 税理士1名 サロン2名参加 ・11/5 館林、館林市役所会議室 NPO法人めいわ1名、NPO法人 足尾鉍毒事件田中正造記念館3名 税理士1名 市役所関係者1名、サロン2名参加 ・12/15 前橋で実施 Mサポ会議室 NPO法人宮城スポーツクラブ、NPO法人おにし文化スポーツネット、NPO法人NPO産業観光学習館、NPO法人群馬ダルク各1名参加 Mサポ関係者3名、サロン4名参加 <p>NPO・ボランティアサロンぐんままでの予約個別相談86件対応</p> <p>②伴走型支援</p> <p>ぐんまリユース食器センターNPO法人設立支援</p> <p>4/7 5/9 6/5 6/16 6/24 7/4 伴走型支援の目的と予定、設立までのスケジュール、理事の役割と構成、事業計画、予算計画の立て方、理事の役割と構成、定款作成、活動予算書、事業計画作成、6/7電話相談、6/26設立総会 交流会参加 7/10設立申請書提出までの一連を行った。 合計支援時間1230分、延べ参加人数はコーディネーター13名、団体参加人数55人。</p> <p>③プロボノ</p> <p>NPO法人2名、マーケッター1名、WEBデザイナー2名の3者が集まり、積極的。どんどん進めたくてうずうずしているが、NPO法人の歩調に合わせている。後半WEBデザイナーが背負いこみ過ぎて、作業がすすまない。計2回×2時間</p> <p>④セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/11 県庁昭和庁舎 13:30～16:30 NPO法人茨城NPOセンター・コモンズ常務理事兼事務局長 横田能洋さんによる協働の進め方(円卓会議編)を開催。県内の13ある中間支援センターのうち11センター、申込み35名、群馬県・サロンを含む関係者31名が参加、欠席7名。 ・1/28 県庁昭和庁舎 14:00～16:50 IHEO川北秀人さんによる協働環境調査報告会を実施。県内の中間支援センタースタッフを中心に、行政職員、NPO等計27名が参加した。川北さんの全国的な動向と協働の定義の解説の後、コーディネーターから群馬県、前橋市、高崎市、太田市、伊勢崎市の調査結果を発表。その後前橋市：市民提案型パートナーシップ事業、伊勢崎市：協働まちづくり事業の事例発表を行い講師とのパネルディスカッションを行った。 <p>(11) センタースタッフ情報交換会の実施</p>	

	<p>①6/11 市町村域中間支援センタースタッフ21名、オブザーバー5名、サロンスタッフ4名の参加で情報交換会を実施。本年事業計画の共有を行った。またその後のサロンの交流会では20名の参加を得られ、気楽な交流が行えた。NPO個別相談で支援センターに行く機会が増えた。</p> <p>②1/28 協働環境調査報告会後講師川北さんとサロンで座談会を実施。</p>
課題	<p>事業仕分となり、サロン開館時間は1日1時間、日曜休みと削減されたが、来場者数は花燃ゆドラマ館ができたことで、1月から急増した。</p> <p>相談件数は去年度より100件近く増え、増加傾向にある。特に会計等込み入った内容の予約相談が増えシフト担当者だけでは対応しきれない。</p> <p>去年度と同じ予算で引き続き事業内容はセンタースタッフ情報交換、センタースタッフスキルアップ支援、センタースタッフスキルアップセミナーを実施した。</p> <p>市町村域センタースタッフスキルアップ支援は、行政職員、常勤スタッフの多い中、非常勤であるサロンコーディネーターが支援する構造そのものに無理がある。</p> <p>事務局もいなく、完全一人体制の時は、トイレ等でサロンを空けるタイミングが難しい。</p> <p>次年度6月にコーディネーターの入れ替えがあると、新人が機能するまではかなり厳しい運営となることが予測される。また新人に業務を伝えるための重複勤務体制のための経費捻出が厳しい。</p>
備考	



決算報告書

第16期

自 平成 26年4月1日
至 平成 27年3月31日

活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

群馬NPO協議会

自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費 786,000

【受取助成金等】

受取助成金 1,000,000

【事業収益】

受託事業収益 8,379,252

その他事業収益 1,023,793 9,403,045

【その他収益】

受取 利息 386

経常収益 計

11,189,431

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

給 料(事業) 5,038,834

法定福利費(事業) 191,695

人件費計 5,230,529

(その他経費)

委 託 費(事業) 1,098,720

会 場 費(事業) 1,370

交 通 費(事業) 355,260

通 信 費(事業) 239,604

消耗品 費(事業) 210,685

リース費 (事業) 447,926

印 刷 費(事業) 345,714

謝 金 (事業) 1,082,720

管理支払手数料 (事業) 113,802

参 加 費(事業) 66,300

書 籍 費(事業) 26,240

雑 費(事業) 167,052

駐車場代 (事業) 288,000

広 告 費(事業) 62,540

助 成 金(事業) 150,000

その他経費計 4,655,933

事業費 計

9,886,462

【管理費】

(人件費)

給 料 (管理) 1,029,160

法定福利費(管理) 37,202

人件費計 1,066,362

(その他経費)

会 場 費(管理) 2,310

交 通 費(管理) 137,000

通 信 費(管理) 154,947

消耗品 費(管理) 50,025

光 熱 費(管理) 12,273

資 料 代(管理) 16,400

接待交際費(管理) 10,000

リース 費(管理) 34,109

租税 公課(管理) 361,750

印 刷 費(管理) 25,343

謝 金(管理) 210,800

駐車場 代(管理) 120,000

参 加 費(管理) 77,900

雑 費(管理) 39,258

その他経費計 1,252,115

管理費 計

2,318,477

経常費用 計

12,204,939

当期経常増減額

△ 1,015,508

【経常外収益】

経常外収益 計

0

【経常外費用】

経常外費用 計

0

税引前当期正味財産増減額

△ 1,015,508

当期正味財産増減額

△ 1,015,508

前期繰越正味財産額

2,126,831

次期繰越正味財産額

1,111,323

事業費・管理費の内訳(別紙)

平成27年3月31日現在

科目	サロン	ブリーチ	地域連携セミナー	PR活動費セミナー	セミナー・イベント費	お問い合わせ(ゼロコ)	緊急雇用3	フェスタイベント	SAVE JAPAN	助成金	PR活動ソフト支援	花燃ゆ助産館	事業部門計	事務局	役員	総会	管理部門計	合計
1. 経常収益																		
1. 受取会費													0	786,000			786,000	786,000
2. 受取助成金等													1,000,000				0	1,000,000
3. 事業収益													8,379,252				0	8,379,252
1. 受託事業収益	7,279,252								1,100,000				928,172	95,621			95,621	1,023,793
2. その他事業収益	590,810												0	386			386	386
4. その他収益																		
経常収益計	7,870,062		0	0	0	500,000	0	500,000	1,100,000	0	223,560	113,802	10,307,424	882,007	0	0	882,007	11,189,431
(人件費)																		
給料	3,717,694	154,116			473,046	74,649	486,777	7,658	32,054				5,038,834	1,022,979		6,181	1,029,160	6,067,994
法定福利費	34,299					157,396	157,396						191,695	37,202			37,202	228,897
人件費計	3,751,993	154,116			473,046	74,649	644,173	7,658	32,054	0	0	0	5,230,529	1,060,181	0	6,181	1,066,382	6,296,891
(その他経費)																		
委託費									900,000		198,720		1,098,720				0	1,098,720
会場費													1,370			2,310	2,310	3,680
交通費	242,540	18,420		910		460	6,440	13,180	5,080				355,260	35,960	100,960	80	137,000	492,260
通信費	101,546	2,046		3,685		18,830	4,279	65,850			324		239,604	69,945		85,002	154,947	394,551
消耗品費	210,155					65,559		530					210,685	50,025			50,025	280,710
リース費	427,451					20,475							447,926	34,109			34,109	482,035
印刷費	126,720	183,994				8,000		27,000					345,714	25,343			25,343	371,057
謝金	20,000			40,000		390,000		400,000	130,000				1,082,720	210,800			210,800	1,293,520
管理支払手数料												113,802	113,802				0	113,802
参加費	58,300												66,300	77,900			77,900	144,200
書籍費	26,240												26,240				0	26,240
雑費	46,247			1,170		2,636		110,609	324		1,296		167,052	39,258			39,258	206,310
駐車場代	288,000												288,000	120,000			120,000	408,000
広告費	8,540							54,000					62,540				0	62,540
助成金										150,000							0	150,000
光熱費																		
資材費																		
接待交際費																		
接交費																		
租税公課																		
その他経費計	1,555,739	204,460		44,959	117,616	485,485	31,194	671,169	1,035,404	150,000	200,340	113,802	4,655,933	1,062,663	102,060	87,392	1,252,115	5,908,048
合計	5,307,732	358,576		82,797	590,662	560,134	675,367	678,827	1,067,458	150,000	200,340	113,802	9,886,462	2,122,844	102,060	93,573	2,318,477	12,204,939

(注) 地域連携セミナー、NPO基礎強化セミナー、セミナースキルアップ支援、ブリーチ刊行業務、印刷収益については、サロン事業収益に含まれます。

【単位】(単位:円)

財務諸表の注記

群馬NPO協議会

平成27年 3月31日 現在

【重要な会計方針】
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価方法及び評価方法
棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。

(2). 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

【会計方針の変更】
特にありません。

【事業費・管理費の内訳】
事業費・管理費の区分は別紙参照。

【使途等が制約された寄付等の内訳】

[税込] (単位: 円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
群馬県共同募金会助成金その1	0	50	50	0	「地域から孤立をなくすための取り組み」(特別配分)
群馬県共同募金会助成金その2	0	50	50	0	「楽しいバリアフリーイベント」(通常配分)
合 計	0	100	100	0	

【役員及びその近親者との取引の内容】
役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

[税込] (単位: 円)

科目	財務諸表に算上された金額	役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
交通費	492,260	121,080
謝 金	1,293,520	136,000
活動計算書計	1,785,780	257,080

貸 借 対 照 表

群馬NPO協議会
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成27年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金 預金 1,822,156

現金・預金 計 1,822,156

(売上債権)

未 収 金 144,854

売上債権 計 144,854

(棚卸資産)

貯 蔵 品 20,000

棚卸資産 計 20,000

(その他流動資産)

前払 費用 34,000

その他流動資産 計 34,000

流動資産合計 2,021,010

資産の部 合計 2,021,010

《負債の部》

【流動負債】

前受 会費 18,000

未 払 金 541,357

未払消費税 348,100

預 り 金 (源泉税) 2,230

流動負債 計 909,687

負債の部 合計 909,687

《正味財産の部》

【正味財産】

前期繰越正味財産額 2,126,831

当期正味財産増減額 △ 1,015,508

正味財産 計 1,111,323

正味財産の部 合計 1,111,323

負債・正味財産合計 2,021,010

財 産 目 録

群馬NPO協議会
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成27年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金 預金	1,822,156
サロン手許現金	(62,494)
協議会手許現金	(41,875)
サロン群馬銀行普通預金	(806,807)
協議会群馬銀行普通預金	(265,387)
サロンゆうちょ銀行	(55,492)
協議会ゆうちょ銀行	(562,655)
ゆうちょ (会費振込)	(1,208)
協議会中央労働金庫普通預金	(26,238)
現金・預金 計	1,822,156

(売上債権)

未 収 金	144,854
SAVEJAPAN	(100,000)
花燃ゆ物産館	(44,854)
売上債権 計	144,854

(棚卸資産)

貯 蔵 品	20,000
棚卸資産 計	20,000

(その他流動資産)

前払 費用	34,000
その他流動資産 計	34,000

流動資産合計	2,021,010
--------	-----------

資産の部 合計

2,021,010

《負債の部》

【流動負債】

前受 会費	18,000
未 払 金	541,357
役員交通費	(100,960)
その他	(440,397)
未払消費税	348,100
預 り 金 (源泉税)	2,230

流動負債 計	909,687
--------	---------

負債の部 合計

909,687

正味財産

1,111,323

監査報告書

2015年 5月 18日

群馬NPO協議会
会長 櫻井 信治 様

監査 田中 一雄 

監査 能倉 浩靖 

特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、群馬NPO協議会の2014年度（2014年4月1日から2015年3月31日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び活動計算書）について監査を行った。

経営の状況及び財産の状況に関する監査に当たって、帳簿や証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行った。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款、2014年度の活動方針、事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、上記の事業報告書及び計算書類が、群馬NPO協議会の2015年3月31日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況、及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認める。

以上

監査意見

経理処理は適切に行われており何ら問題はないことは、監査報告で申し上げた通りですが、現状の事業運営では毎年 100 万円強ずつの赤字決算となり、収入も支出も固定していることから、来年度以降、現状の形で協議会を運営していくことは、かなりの困難があると思われます。

県からの委託であるサロン事業は過不足なく実施できるとして、それ以外の事業については、できる範囲に限定し、無理なく運営できるよう、役員会を中心に協議されることを強く期待します。

また、あわせて、サロン事業は、中間支援事業として重要かつ蓄積のあるものですが、その運営を持続的に進めるためにも、協議会の NPO 法人化を真剣に討議されることを期待します。県内の NPO 法人が集まって中間支援のための NPO 法人を組織し、県との協働のもとにサロン事業を展開するという形でよいのかもしれない。

平成 27 年 5 月 18 日

監査

田中一雄・熊倉浩靖

平成27年度事業計画

群馬NPO協議会会則第3条に基づく活動を行う。

第3条 本会は、会員相互の情報交換と、NPOの健全な発展を図ることを目的とする。

1. 県内のNPO法人のネットワーク化及び情報の共有を図る。
2. 本会の広報体制を強化し、報道機関との連携を図りNPO活動を通して、NPO法人の趣旨や活動状況を市民に広く周知する。
3. 「NPO・ボランティアサロンぐんま」の運営を引き続き受託し、NPO基盤強化・地域連携セミナー及び県内ボランティア活動やNPOの促進に貢献するための充実したサロン運営を行なう。
4. ニュースレター情報誌「ブリーサ」の記事内容の充実を図る。
5. NPO支援センター（中間支援組織）の先進事例を研修し、本会の進むべき方向性を決め組織化を図る検討をする。
6. NPO法人の活性化を支援するため、複数団体に助成金事業を行なう。
7. 激甚災害等で群馬県内に避難又は移転されてきた被災者の方のサポートを本会の会員や他のNPO、社会福祉協議会等と連携し生活や心の支援を行なうとともに的確な情報を集積し、関係者に迅速に発信する。
8. 以上の事業を推進する事により、本会の継続的発展を目指す。

平成 27 年度活動予算書

群馬 N P O 協議会

科目	予算額	去年実績 (H26)	増減
【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	800,000	786,000	14,000
受取会費計	800,000	786,000	14,000
【受取助成金等】			
受取助成金	500,000	1,000,000	△ 500,000
受取助成金等 計	500,000	1,000,000	△ 500,000
【事業収益】			
受託事業収益	9,242,340	8,379,252	863,088
その他事業収益	200,000	1,023,793	△ 823,793
事業収益 計	9,442,340	9,403,045	39,295
【その他収益】			
受取 利息		386	△ 386
その他収益 計	0	386	△ 386
経常収益 計	10,742,340	11,189,431	△ 447,091
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給 料(事業)	5,100,000	5,038,834	61,166
法定福利費(事業)	195,000	191,695	3,305
人件費計	5,295,000	5,230,529	64,471
(その他経費)			
委 託 費(事業)	1,100,000	1,098,720	1,280
会 場 費(事業)	3,000	1,370	1,630
交 通 費(事業)	360,000	355,260	4,740
通 信 費(事業)	200,000	239,604	△ 39,604
消耗品 費(事業)	200,000	210,685	△ 10,685
リース費(事業)	450,000	447,926	2,074
印 刷 費(事業)	300,000	345,714	△ 45,714
謝 金(事業)	500,000	1,082,720	△ 582,720
管理支払手数料(事業)	100,000	113,802	△ 13,802
参 加 費(事業)	50,000	66,300	△ 16,300
書 籍 費(事業)	30,000	26,240	3,760
雑 費(事業)	150,000	167,052	△ 17,052
駐車場代(事業)	288,000	288,000	0
広 告 費(事業)	0	62,540	△ 62,540
助 成 金(事業)	150,000	150,000	0
その他経費計	3,881,000	4,655,933	△ 774,933
事業費 計	9,176,000	9,886,462	△ 710,462
【管理費】			
(人件費)			
給 料(管理)	900,000	1,029,160	△ 129,160
法定福利費(管理)	30,000	37,202	△ 7,202
人件費計	930,000	1,066,362	△ 136,362
(その他経費)			
会 場 費(管理)	3,000	2,310	690
交 通 費(管理)	130,000	137,000	△ 7,000
通 信 費(管理)	150,000	154,947	△ 4,947
消耗品 費(管理)	50,000	50,025	△ 25
光 熱 費(管理)	12,000	12,273	△ 273
資 料 代(管理)	15,000	16,400	△ 1,400
接待交際費(管理)	10,000	10,000	0
リース 費(管理)	30,000	34,109	△ 4,109
租税 公課(管理)	340,000	361,750	△ 21,750
印 刷 費(管理)	25,000	25,343	△ 343
謝 金(管理)	210,800	210,800	0
駐車場代(管理)	120,000	120,000	0
参 加 費(管理)	50,000	77,900	△ 27,900
雑 費(管理)	30,000	39,258	△ 9,258
その他経費計	1,175,800	1,252,115	△ 76,315
管理費 計	2,105,800	2,318,477	△ 212,677
経常費用 計	11,281,800	12,204,939	△ 923,139
税引前当期正味財産増減額	△ 539,460	△ 1,015,508	476,048
当期正味財産増減額	539,460	1,015,508	△ 476,048
前期繰越正味財産額	1,111,323	2,126,831	△ 1,015,508
次期繰越正味財産額	571,863	1,111,323	△ 539,460